ラポール ニューイヤーコンサート 2027

オーケストラ・アンサンブル金沢

ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA

ベートーヴェン
ロマンス第2番 ヘ長調 Op.50

ベートーヴェン
12のドイツ舞曲 WoO 8

J.シュトラウス 2世
喜歌劇「こうもり」序曲

E.シュトラウス
ポルカ「軽やかに、匂やかに」 Op.206

J.シュトラウス 2世
ワルツ「レモンの花咲くところ」 Op.364

ヨーゼフ・シュトラウス
ポルカ「永遠に」 Op.193

H.ロンビ
シャンパン・ギャロップ Op.14

ヨーゼフ・シュトラウス & J.シュトラウス 2世
ピツィカート・ポルカ

J.シュトラウス 2世
ワルツ「皇帝円舞曲」 Op.437

J.シュトラウス 2世
ポルカ「雷鳴と雷光」 Op.324

チケット料金 全席指定
(消費税込)

一般	4,000円
(当日	4,500円)
25歳以下	1,000円

ホールメイト会員(4枚まで)

一般	3,600円
25歳以下	900円

会員先行
10/11(日)10:00〜

一般発売
10/17(土)10:00〜

※未就学児入場不可
※当日25 歳以下は本人確認書類を提示
※車イス席はラポールのみで販売します
※会員先行販売期間はラポールのみで販売します
※発売初日(10/11、10/17)に限り、ラポールの電話受付は13:00〜

2027 1.10 SUN

アイザック小杉文化ホール
ラポール

午後2:00開演
(午後1:30開場)

プレイガイド
アイザック小杉文化ホール
高周波文化ホール(新湊中央文化会館)
アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)
チケットぴあ(Pコード:338-474)、ローソンチケット(Lコード:54004)

主催／(公財)射水市文化振興財団、射水市、(公財)石川県音楽文化振興事業団
後援／射水市教育委員会、北日本新聞社、チューリップテレビ、FM とやま、射水ケーブルネットワーク(株)
特別協賛／学校法人浦山学園 社会福祉法人浦山学園福祉会
助成／文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

学校法人 浦山学園
社会福祉法人 浦山学園福祉会

文化庁



リーダー＆ヴァイオリン／
ヤメン・サーディ
Yamen Saadi, Leader&Violin

ウィーン・フィルの若きリーダーが登場！

お問い合わせ:アイザック小杉文化ホール ラポール 〒939-0351 富山県射水市戸破1500 TEL 0766-56-1515 (9:00〜17:00) ※毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)および年末年始(12/29〜1/3)を除く

ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA

ウィーン・フィルの若きリーダー、ヤメン・サーディがラポールに登場を果たす。イスラエル出身のサーディは、2022/23シーズンに25歳にしてウィーン国立歌劇場管弦楽団およびウィーン・フィルのコンサートマスターに就任した注目のヴァイオリニスト。ウィーン・フィルの未来を担う新鋭が、ベートーヴェンとウィンナ・ワルツ&ポルカをOEKとともに奏でる。

ヤメン・サーディ

リーダー&ヴァイオリン

Yamen Saadi, Leader&Violin



©Clara Evens

2022/23シーズン、25歳にしてウィーン国立歌劇場管弦楽団およびウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。ソリスト、室内楽奏者として国際的に活躍し、ベルリン・モルゲンポスト紙から「魅惑的な音色」と評されている。静謐な叙情性、卓越した技巧、そして年齢を超えた優雅さをあわせ持つ演奏で注目を集める。

ソリストとしてシュターツカペレ・ベルリン、ウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団、読売日本交響楽団、バルセロナ交響楽団、ポーランド国立放送交響楽団、ネイプルズ・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。ダニエル・バレンボイム、ライオネル・ブランギエ、ステファニー・チルドレス、ケヴィン・ジョン・エドゥセイ、ローレンス・フォスター、レオニダス・カヴァコス、アントネッロ・マナコルダらの指揮者と共演している。

ウィーン楽友協会、ハンブルクのエルプフィルハーモニー、ベルリン・フィルハーモニー、ピエール・ブーレーズ・ザール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、武蔵野市民文化会館、カーネギーホールなどに登場。ヴェルビエ音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭、ラインガウ音楽祭、エヴィアン国際音楽祭、パウ・カザルス国際音楽祭、ツィナンダリ音楽祭などにも出演している。

2022年1月、ピアニストのナタリア・ミルステインとプーランク、イザイ、フォーレの作品を収録した初のリサイタル・アルバム『Voices From Paris』をリリースし、高い評価を得た。

ナザレ生まれ。バレンボイム＝サイード音楽院でヴァイオリンを学び始め、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、ハイム・タウブに師事。11歳でウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団に入団し、17歳で同団のコンサートマスターに就任した。バレンボイム＝サイード・アカデミーで学士号を取得後、クロンベルク・アカデミーでミハエラ・マーティンに師事し修士号を取得。2020年にはアビブ・コンクールとポール・ベン・ハイム・コンクールの双方で第1位を受賞。アメリカ・イスラエル文化財団の奨学金を受け、プリンス・フォン・ヘッセン賞を受賞した。

フリッツ・クライスラーが所有した1734年製ストラディヴァリウス「Lord Amherst of Hackney」を使用している。



オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督（現永久名誉音楽監督）を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティヴァルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティスティック・リーダーを務める。